

さいたま市の教育が目指す人間像
「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」
・第2期さいたま市教育振興基本計画(2019～2028)
・令和4年度 教育行政方針
・さいたま市小学校教育課程編成要領
・さいたま市の学校教育 推進の指針
・小学校学習指導要領

令和4年度 さいたま市立新和小学校グランドデザイン



保護者や地域の願い
・保護者・地域の方も含めた「みんなの学校」
・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)
・開校131年の歴史と伝統
「地域に誇りと愛着をもつ子どもの育成」

みんなでつくる みんなの学校 ～児童・教職員・保護者・地域のすべての人の笑顔のために～

こんな学校を目指します
・全ての子どもが笑顔で通う学校
(学びがある 安心できる 所属感をもてる)
・子ども、保護者、教職員、地域の方みんなに学びがある

＜学校教育目標＞
・「自立」自分で考え、自ら行動する子
・「尊重」みんなを大切にする子
・「創造」よりよい未来を切り拓く子

こんな教師を目指します
・すべてのものから学べる教師
・心身ともに健康的な教師
・子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者のような教師

＜3つの力をバランスよくはぐくみます＞
○ 実際の社会や生活で生きて働く”知識・技能”
○ 未知の状況にも対応できる”思考力・判断力・表現力など”
○ 学んだことを人生や社会に生かそうとする”学びに向かう力・人間性など”

＜こんな児童をそだてます＞
・自分で計画をたてて学習・生活に取り組む子
・自分で思いや考えを表現できる子
・多様性を認められる子 ～みんなちがって、みんないい～
・対話や協働を通して折り合いをつけたり、よりよいアイデアを生み出したりすることができる子

地域とともにある学校～地域の核となるために～
・学校運営協議会の充実
・積極的な情報発信(学校公開の開催、学校Webページの更新、各種おたよりの発行・回覧)
・持続可能な社会の創り手を育てる地域学習(生活科、総合的な学習の時間、社会等)
・児童会による「感謝の会」の開催
・PTAと連携した「地域学校保健委員会」の開催
・地域運動会での鼓笛演奏
・チャレンジスクールの充実
・SSNプラス(学習・安全ボランティアの拡充)
・地域施設との交流(保幼、中学校、施設、企業)

組織による取組
・教員の指導力向上
(業績目標の設定、「学力向上ポートフォリオ」、「よい授業」アンケートの実施、学校課題研究、計画的な授業観察)
・子どもに寄り添う児童理解
(月に1度の児童アンケート、Q-Uを生かした学級経営、面談週間の実施)
・子どもの自立を促すコーティング力の向上
・保護者と連携した教育相談体制の構築
(専門家・関係機関との連携、「にいわの日」の充実)

資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実践
○ 個別最適な学び
・一人1台PCを活用した授業の充実
・メタ認知を促し、調整力を育てる授業の実践
○ 協働的な学び
・STEAMS教育、SDGs教育の実践
・「アクティブ・ラーニング」型授業の実践
○ 異学年集団での活動の充実
・2学年合同の授業形態
・児童会活動、クラブ・委員会活動、通学班



本年度の重点目標
安全で安心できる潤いのある教育環境の整備
○ 「新しい生活様式」の徹底
○ いじめの未然防止
・アンケート結果(Q-U)を生かした学級経営
・保護者及びSC・関係機関等と連携した組織的対応
○ 防災・防犯教育の推進

家庭・地域との連携・協働
○ 家庭との連携
・健康保持のための生活習慣の定着
・一人1台PCの利用を含めた学習習慣の定着
○ 学校運営協議会の充実(保護者、地域との熟議)
○ 地域の「教育センター」としての取組
・学校図書館の開放
・学習ボランティアの拡充
・校内作品展の公開



特色ある教育活動
○ 2学年合同授業の実施(生活科、総合的な学習の時間 等)
○ 地域の教育資源を生かした体験学習の充実(2年:町たんけん 3年:くわい栽培、地域学習 5年:田植え・稲刈り体験 2・6年:ホテル放流)
○ 多様な人々との交流を通じた人権教育・キャリア教育の推進
(学年に応じた障害理解教育、特別支援学校児童との共同学習、聴覚障害者との交流、食物生産者等との交流)

